

(医療介護福祉科)
10月13日(土)介護の日フェア 2018 イオンモール岡山にて
「こんなモノがあったらイナ～」
医療福祉現場の課題解決をめざす HALU LAB(ハル ラボ)
優秀アイデア発表

- ①指先などの温度の感覚が鈍くなった人も安心して使える、湯温で色が変わる洗面器
- ②洗い残しを音で知らせてくれる、視覚障害者や背中まで手が届かない高齢者にうれしいボディースポンジ
- ③手が挙げにくい高齢者や、片麻痺の人が片手でも髪が洗える ヘッド・イン・シャンプー
- ④視力が悪い人でも安心して入浴できる、お風呂でも曇らず、拡大ルーペにもなったメガネなど、⑦つのアイデアを パネルで展示し、プレゼンテーションの時間には学生が舞台上で説明します。

日時:2018年10月13日(土) 10:00~16:15 展示

14:35~(約5分) プレゼンテーション(※時間は変更になる場合があります)

場所:イオンモール岡山 1F未来スクエア

病院、介護施設、家庭、日々の仕事や生活の中で、「こんなモノがあったらいいな」、「困りごとを解決したい」…さまざまな思いが頭に浮かびます。その思いを基に、現場の問題を顕在化し、原因を掘り下げ、解決するアイデアを“かたち”にしていくワークショップ、HALU LAB(ハル ラボ)を、今年6月30日に、中四国地方で初めて開催しました。(※その模様は、7月4日RSKイブニングニュースでも取り上げられました)

そこで出たアイデアを、
介護福祉士を目指す学生(川崎医療短期大学 医療介護福祉科)と
医療福祉デザインを学ぶ学生(川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科)が、
ブラッシュアップし、今回、目に見えるかたち(パネル展示)でご紹介いたします。



発表は、岡山県全県をあげて開催される『おかやま介護フェア 2018』のイベント会場で行われます。フェアのプログラムとしては、認知症VR体験、介護職の試食・試飲体験、第3回カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト、福祉の仕事紹介など多彩な催しが予定されています。